

四川外语学院 2003 年度日语硕士研究生入学考试

日语基础试题问题卷

答题要求：所有答案必须做在答题纸上，否则无效。全卷 150 分，3 小时完成。

問題一、次の語句の片仮名の部分を漢字になおしなさい。(1×10 点)

- (1) 机を部屋のカタスミに寄せる。
- (2) 朝にはキシベに霜柱がたつ。
- (3) マブタに浮ぶ故郷の山河。
- (4) 旧態からダッピする。
- (5) 顔にクジュウの色を浮かべている。
- (6) 悔恨のショウドウにかられた。
- (7) 万物はルテンする。
- (8) ボウジャクブジンの振舞。
- (9) シワスも押し詰まってきた。
- (10) 人間はエテカッテなものだ。

問題二、次の語句の漢字を平仮名になおしなさい。(1×10 点)

- (1) 颯爽としてしゅっぱつする。
- (2) しろの礎だけがのこっている。
- (3) 独楽をまわす。
- (4) げんろんのじゅうを束縛する。
- (5) てきの刃にかかる。
- (6) 手網をしめる。
- (7) かれは豪奢なせいかつをしている。
- (8) まほうびんから急須にゆをつぐ。
- (9) 袂からかしのかみづつみを出す。
- (10) やねに梯子をかける。

問題三、次の各文の（ ）の中に、あとの副詞の中からもっとも適当なものを記号で書き入れなさい。(同じ語を二回使わないこと) (1×10 点)

- 1、この会合は（ ）出席するに及ばない。
- 2、社長には（ ）の権力があるわけではない。
- 3、そんなに学校が嫌なら（ ）行けとは言わないよ。

- 4、最近のアイドルは顔は（ ）声は総体に悪い。
 5、（ ）子供のことでですから、勘弁してください。
 6、今年はいつもより（ ）寒さが厳しい。
 7、日本人は水を（ ）使う生活に慣れている。
 8、人形の首が（ ）抜けた。
 9、人の顔を（ ）見るのは失礼だ。
 10、彼は（ ）忠告に耳を貸そうとしない。

A ふんだんに	B なにぶん	C じろじろ
D 一向に	E ひととき	F すっぱり
G しいて	H ともかく	I 絶対
J あえて		

問題四、次の各文の（ ）にはどんな言葉を入れたらよいか、A. B. C. D. から最適なものを一つ選びなさい。(1×20 点)

- 1、いかなる極悪人と（ ）やはり彼も人の子だ。子供への愛情は断ち切れなかった。
 A. いったらば B. いったからには C. いえども D. いえばかり
 2、子供たちはだれ言う（ ）、私のことをお姉さんと呼ぶようになった。
 A. のみならず B. ともしに C. ばかりか D. どころか
 3、空には暑い雨雲があって、今にも降り（ ）ばかりの様子であった。
 A. 出さん B. 出した C. 出す D. 出さ
 4、インドにきた（ ）手づかみで食べなければと私たちも手づかみで口に運んでみた。
 A. からでは B. までには C. まででは D. からには
 5、彼は失望する（ ）自信たっぷりで行っている。
 A. ゆえに B. ばかりか C. どころか D. からして
 6、詳しくお話しを（ ）からでないと、お答えできません。
 A. うかがって B. うかがう C. うかがい D. うかがった
 7、外国人であるが（ ）そんなあつかいを受けるのは残念である。
 A. のみに B. くせに C. だけに D. ゆえに
 8、いかがですか、こちらのズボンはお気に（ ）でしょうか。
 A. 存じた B. なされた C. なられた D. 召された
 9、田中さんはバドミントンに（ ）スポーツなら、何でも得意だったそうだ。
 A. 基づき B. すぎず C. 限らず D. わたって
 10、その時彼は私の顔を見る（ ）笑い出した。

- A. や否や B. 次第で C. が最後 D. 末に
- 11、われわれは自分（ ）仕事と学習をどう位置づけるかということが次第に分ってきた。
- A. だけに B. どおりに C. までに D. なりに
- 12、世間で言われている（ ）、意外に簡単な入学試験でしたよ。
- A. ほどでもなく B. はずもなく C. わけでもなく D. までもなく
- 13、子供を留学させる（ ）、相当の出資を覚悟しなければならない。
- A. ともすると B. となれども C. とあれども D. ともなると
- 14、彼は金がなくなれば、どうぼうでも（ ）人だ。
- A. しはしない B. しえない C. しかねない D. しかねる
- 15、父は文句を言い（ ）、金を出してくれた。
- A. かたがた B. ついでに C. ながらに D. ながらも
- 16、彼は世界の大きな事情は（ ）、世界の小国の事情にいたるまで詳しい。
- A. おろか B. 限らず C. 問わず D. わずか
- 17、彼は学校で先生をしていた（ ）、今も人前で話すのがうまい。
- A. のみならず B. にもかかわらず C. からといって D. だけあって
- 18、彼は留学すると言って、大騒ぎした（ ）、試験に落ちてしまった。
- A. かぎり B. ことに C. ほかに D. あげくに
- 19、会社には担当者以外は知る（ ）機密というものが大なり小なりあるものだ。
- A. べからざる B. べからず C. べき D. べく
- 20、私はその日の一日も早く訪れるのを心から願って（ ）。
- A. すまない B. とならない C. やまない D. そういない

問題五、次の文の に適当な助詞を書き入れなさい。(1×10 点)

人間は、時 1 流されやすい。時 2 すべてを解決してくれるから、ということば 3 あるが、時だけがオールマイティだ 4 すれば、人間の努力なんてものは必要がなくなってしまう。時をつくっていく 5 は実は人間だから。こう考えてくる 6 人間というものは、わがままなものである。自分では時 7 むだ 8 しておきながら、自分の手 9 よって時を支配したいという気持ちを、どこか 10 持っているのだから。

問題六、次の手紙の文章を読んで、後の問に答えなさい。(30 点)

拝啓 暦の上では秋といいながら、厳しい暑さが続いております。私は大学にはいつて初めての夏休みを元気でのびのびと過ごしております。先生にはごきげんいかがでしょうか、お伺い申し上げます。先月の末、先輩の山形兄を訪れて二泊させてもらい、

いっしょに近くの海で泳いでたいへん愉快でした。同兄の机の上には専門の洋書などが積まれており、その勉強ぶりを見S大学の様子を聞いたりして、いろいろ刺激を受けました。春にお目にかかりましたとき、先生から承りましたとうり、外国語の勉強が大事だと感じましたので、その方に力を注ぎ、経済学の入門書などもぼつぼつ読んで、そんなことをそのごろの日科にしております。これからは、社会の動きにもできるだけ目を向けるとともに、自分自身をよく見つめて生活目標を確立していきたいと存じますが、そういう点について、先日当地の文化講演会に参られた千葉博士のお話から示唆されるところがありました。恒例の高校陸上大会も近ずき、母校選手の活躍を期待しております。

まずは右暑中お見舞いかたがた (a) をお知らせ申し上げます。

敬具

八月十三日

山口太郎

石川先生

(b)

問一、書き方の順序に礼儀上穏当でない個所が一つあるが、その部分を正しく書き改めなさい (3 点)。

問二、①漢字の使い方の誤りが二つ、②仮名遣いの誤りが二つ、③助詞と④敬語および⑤季節に関する言葉の使い方の不当なものが一つずつあるが、それらを指摘して訂正しなさい (7×2 点=14 点)。

※ [解答例] 招介→紹介 どれ^も→どれでも

問三、空欄 (a) (b) に入れるべき言葉を記しなさい (2×2=4 点)。

問四、時候の挨拶は、五月の初め頃に出す手紙にはどのように書いたらよいか、二十字ないし二十五字の長さで記しなさい (3 点)。

問五、下記した言葉は手紙の中でどのような場合に用いるか説明しなさい (3×2 点=6 点)。

①前略

②早々

③二伸

問題七、次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(45 点)

人間の権利というものは、人間が自由にあこがれる歩みの中で生まれてきたものです。自由の理想は、人間をそこに向かって引っ張る力を持っています。そしてその理想に照らし出されたある目標に向かって、人間は自分をつなぎとめているある④ソクバクをたえず断ち切ろうと努力してきました。それは、ある時は隣人の気ままなふるまいであったり、ある時は社会の不当な差別待遇であったり、ある時は仕事や住まい

切な文を一つ選んで、その番号を記入しなさい (3 点)。

1. 自由を拡大してゆくことにより、人間の権利は保障されてくるものである。
2. 人間の権利が保障されていなくても、自由は拡大されなければならない。
3. 自由を拡大してゆくためには、人間の権利が保障されていなければならない。
4. 人間が自由への努力をしてきたので、今日人間の権利が保障されているのである。

問五、問題文によると、訴えと権利とはどういう関係にあるのでしょうか。「権利 である」という表現で、「権利」を主語にし、文末を「である」にして、 の中に 35 文字以内の内容を入れて、一つの文を作成しなさい (3 点)。

問六、文中にある、次のカタカナの部分を漢字になおしなさい (4×2=8 点)。

㊤ ソクバク ㊤ ソウゴ ㊤ キガ ㊤ ジメイ

問七、第二段の「ここで人間の自由と人間の権利とのお互いの関係が～～恐怖や苦痛からの自由を求めて作り出すことも出来るのです。」を中国語に訳しなさい (20 点)。

問題八、次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。(6.5 点)

ある人、弓射ることを習ふに

ある人、弓射ることを習ふに、もろ矢をたばさみて的にむかふ。師のいはく、「初心の人、二つの矢をもつことなかれ。後の矢をたのみて、初めの矢に、等閑の心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて、一つをおろかにせむと(思ふ)むや。懈怠の心、みづから知らずと(言ふ)ども、師これを知る。

この戒め万事にわたるべし。道を学する人、夕には朝あらむ事を思ひ、朝には夕あらむことを思ひて、重ねて懇に修せむことを期す。いはんや一刹那のうちにおいて、懈怠の心あることを知らむや。何ぞただ今の一念において、直ちにする事の甚だ難き。

(徒然草)

問一、「ただ得失なく」とあるが、どんなことを「得失」と言っているのですか。(0.5 点)

問二、「師これを知る」の「これ」は何をさしますか (0.5 点)。

問三、「重ねて懇に修せむことを期す」とあるが、誰が何をしようとするのですか。(0.5 点)。

問四、「ただ今の一念において、直ちにする事の甚だ難き」とあるが、誰が何を

を奪われる恐怖であったり、ある時は巨大な権力によるかって気ままな支配であったりしました。しかし人間は、これらを一つ一つ断ち切り、そのことをたんねんに人間の権利として (1) 法律の中に書き込んできたのです。

ここで人間の自由と人間の権利とのお互いの関係がはっきりしてきます。つまり、自由は権利によってささえられ、権利は自由によって生み出されるという⑥ソウゴ的な関係がここにあるのです。自由と権利とのこの関係は、自由の内容と権利という言葉とがいつでもおきかえられることによってわかります。たとえば、(2) a 危険からの自由のために「生命の権利」を主張し、④キガからの自由のために「生活の権利」を主張し、恐怖や苦痛からの自由のために「幸福の権利」を主張することが出来ます。ところがまた、これを反対にして、(2) b 「生命の権利」を危険からの自由を求めて作り出し、「生活の権利」をキガからの自由を求めて作り出し、「幸福の権利」を恐怖や苦痛からの自由を求めて作り出すことも出来るのです。

日本国憲法第九十七条に、「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、」と言っています。これは自由と権利との関係について、その一面を述べたものと見る事が出来ます。

しかし、考えようによっては、権利は自由への努力の成果であるよりも以上に、自由への努力の保障であるということこそ、より以上に強調されなければならないかもしれません。

人間の権利といわれるものは、何一つ⑤ジメイではなく、ただ十分な理由をもった人間の訴えにすぎませんでした。自由を求める人間が、さまざまのソクバクからのがれることを訴えるとき、その訴えに十分な理由があれば、(3) それが人間の権利として、私たちの社会に確立されてくるのです。ですから権利というものは、過去に認められたものがすべてではありません。人間が自由を追求するかぎり、訴えは常に新しくおこり、したがって権利もまたどこまでも開発されていかなければならないのです。

問一、下線 (1) の「法律の中に書き込んできた」と同じ意味内容を持っている言葉は、次のうちのどれでしょうか。その記号を記入しなさい (2 点)。

イ 確立してきた

ロ 主張してきた

ハ あこがれてきた

ニ 述べてきた

問二、下線 (2) の、文 a、文 b の内容をそれぞれ、抽象的に表現している個所を文中から書き抜きなさい (2×3 点=6 点)。

問三、下線 (3) の「それ」は何を指すのでしょうか (3 点)。

問四、筆者は、憲法第九十七条の引用文について、これは「自由と権利との関係について、その一面を述べたもの」と言っていますが、それでは、自由と権利との関係の他の一面というのはどんな関係でしょうか。次の中から適

直ちにするのですか (0.5 点)。

問五、「一念」と同義語を本文中から抜き出して示しなさい (0.5 点)。

問六、文中の係り結びを指摘して、結びの語の活用形を示しなさい (0.5 点)。

問七、次の文中の「べし」の意味の差別を指摘しなさい ($2 \times 0.5 = 1$ 点)。

①「この一矢に定むべし」

②「この戒め万事にわたるべし」

問八、文中の () の中に適当な活用形に入れなさい ($2 \times 0.5 = 1$ 点)。

①「……知らずと (言ふ) ども、師これを知る」

②「一つをおろかにせむと (思ふ) むや」

問九、「二つの矢をもつことなかれ」とあるが、この「なかれ」は詞類と活用形を示しなさい (0.5 点)。

問十、「徒然草」の同時代の作品は次の中から二つ選びなさい ($2 \times 0.5 = 1$ 点)。

①古今集

②十六夜日記

③大鏡

④今昔物語

⑤枕草子

⑥奥の細道

⑦大和物語

⑧宇治拾遺物語

⑨土佐日記

問題九、次の線を引いた助動詞の名称と活用形を書きなさい ($10 \times 0.5 = 5$ 点)。

1、秋来ぬ^①と目にはさやかに見えね^②ども風の音にぞ驚かれ^③ぬる^④

2、偽りのなき世なりせ^⑤ばいかがばかり人の言の葉うれしからまし^⑥

3、世の人の飢ゑず、寒からぬ^⑦やうに世をば行はまほしき^⑧なり^⑨

4、今宵こそいとむづかげなる夜なめれ^⑩

問題十、次の文の () の中の語の適当な活用形を書きなさい ($7 \times 0.5 = 3.5$ 点)。

1、八重桜は奈良の都にのみあり (けり) ^①を、このごろぞ世に多くな
り侍る (なり) ^②

2、格子どもも、人は (なし) ^③して、あきぬ

3、ほととぎすや聞きたまへ (り) ^④

4、千年を (過す) ^⑤とも、一夜の夢の心地こそせ (む) ^⑥

5、千年を (待つ) ^⑦で、薪にくだかれ。